会 議 録

作成:平成29年10月12日

会議名称	平成29年度 第3回 交野市子ども・子育て会議		
開催日時	平成29年10月12日(木) 午後2時00分～3時50分		
開催場所	交野市立保健福祉総合センター(ゆうゆうセンター)3階 展示活用室		
出席者	・委員 14人出席(欠席者0人)	・事務局8人	合計 22人
			傍聴者 2人
配付物	<ul style="list-style-type: none"> ・次 第 ・交野市子ども・子育て会議委員名簿 ・交野市子ども・子育て会議条例 ・交野市子ども・子育て会議条例施行規則 ・保護者説明会 実施概要 ・パブリックコメント手続き結果概要 ・交野市立幼稚園民営化基本方針(案)パブリックコメント結果概要 ・交野市認定こども園民営化基本方針(案) 		
内 容	<p>1. 開会</p> <p>2. 委嘱状交付</p> <p>3. 委員の紹介</p> <p>4. 正副会長の選出</p> <p>5. 会長挨拶</p> <p>6. 議題</p> <p>(1)パブリックコメント等の実施結果について</p> <p>会 長:それでは本日の議題に入りたいと思います。</p> <p>本審議会には「幼稚園民営化基本方針」について諮問されているところですが、前回の会議で提示された基本方針の案については委員皆様のご承認のもと、事務局より後日、成案に向けてご意見を聞くパブリックコメントを実施されるという事でした。その結果が事務局によりまとめられていますので説明を受けたいと思います。事務局、よろしく願いいたします。</p> <p>事務局:それでは、ご説明させていただきます。</p> <p>本日の基本方針案につきましては、9月1日から10月1日までの一か月間パブリックコメントを実施させていただきました。</p> <p>保護者説明会におきましても、ご質問等いただいておりますので、併せて説明させていただきます。</p> <p>まずは、「保護者説明会実施概要」について説明させていただきます。</p> <p>8月19日、9月15日、16日にかけて延べ68人の保護者に参加いただきました。</p>		

財源に関すること、保育の課題の解決方法、民営化の目的について、池を埋め立てすることについての不安、子どもの環境変化の不安、移行後の園について、障がい児保育について、民営化のデメリット等、多岐に亘り質問やご意見をいただきました。詳細につきましては、資料のとおりでございます。

次に、「パブリックコメント手続き結果概要」について説明させていただきます。

今回のパブリックコメントは、電子メール、ファックス、担当課に直接持参していただくほか、公立幼稚園3園に、保護者からの意見を頂くため受け付け用の「箱」を設置しました。合計360人646件のご意見をいただきました。意見毎に分類し、整理をしております。

それではいただきましたご意見のご紹介をしていきたいと思っております。

「1. 基本方針(案)に関すること」82件

- ・民営化の目的がコスト削減だけなのではないか、目的がはっきりしないのではないか
- ・財政が厳しいというのは本当か
- ・財政効果について公立・民間の全市的な保育の充実に活用してほしい

「2. 移転、埋立、建替えに関するもの」69件

- ・池を埋め立てた上に施設を建設するのは安全面に不安がある
- ・施設の長寿命化に適さないとした判断に関するもの
- ・移転候補地の周辺の道路交通環境の不安に関するもの

「3. 民営化園の選定に関するもの」8件

- ・あまだのみやに選定することの理由がわかりにくい

「4. 公民比較に関するもの」87件

- ・民間園は営利目的、保育士の処遇がよくないので保育の質もよくない
- ・公立の保育士は、安心して働ける環境があるので、年齢の幅もあり安心して子どもを預けることができるが民間園ではそれができないのではないか
- ・民間園も公立と同様に「子どもの最善の利益」を一番に考えている。保育士の資質向上に努め特色ある保育を可能にしている事
- ・民間園では、地域貢献として大阪府認定の地域貢献支援員(スマイルサポーター)がおり、幅広い相談に対応している
- ・民間園がレベルが低いと言われることは大変不幸なこと

「5. 保護者の費用負担に関するもの」20件

- ・民営化した場合の費用負担の不安

「6. 引き継ぎに関するもの」21件

- ・引き継ぎ期間が短いのではないか
- ・民営化後の市の関わり方に関する事

「7. 障がい児に関すること」56件

- ・公立園では実績があるが、民間園では不安だ
- ・重度の障がいがある場合は公立が二園になると通園に支障が出るのではないか
- ・公立、民間に関わらず受け入れをしてほしい

「8. 食物アレルギーに関すること」6件

- ・協定期間が過ぎると業者委託になるのではないか、アレルギー対応が心配
- ・業者委託の場合も、急な調理の変更も対応してくれ代替え食もあり、手作りおやつも充実している

「9. 協定に関すること」13件

- ・協定期間終了後はどうなるのか

「10. 保育士等の職員配置に関するもの」28件

- ・公立園はベテランの保育士が多くて安心
- ・看護師が配置されていて安心
- ・保育士の処遇と子どもたちへの保育環境は、つながっていないのではないか

「11. 待機児童に関するもの」10件

- ・民営化により待機児童が増えるのではないか

「12. 保護者会に関するもの」3件

- ・保護者会がなくなるのは助かる

「13. 事業者選定に関すること」5件

- ・民設民営方式が望ましい理由がよくわからない

「14. 公立希望(選択肢)に関すること」28件

- ・民営化により選択肢が狭くなる

「15. 賛否のみや内容が合致しないものなど」210件

- ・その他、賛否のみや内容が合致しないもののご意見等を集約

これら 646 件のご意見をいただきましたが、パブリックコメントは個別の回答はしないものとしており、類似の意見をまとめ、意見に対する市の考え方をお示ししております。

「保護者説明会実施概要」と「交野市立幼稚園民営化基本方針(案)パブリックコメント結果概要」については以上でございます。

会 長:ただ今の説明に関しまして、ご質問・ご意見があれば発言をお願いします。

委員A: パブリックコメントの回答がいつでるかという事は、自分でインターネットを見ないとかわからないということでしょうか。

事務局: 今ご覧いただいている資料のような形でインターネットにより公表する予定としております。類似の意見、趣旨が同じものにつきまして纏めさせていただき、回答させていただく形です。

委員B: このようにたくさんのパブリックコメントが出てきた事にびっくりしている。その中で、賛否のみや内容が合致しないものなどのところ、空欄になっているが、ここそ丁寧な市の説明が必要ではないのかなと思います。私自身パブリックコメントを見て知らなかったことが記載されていた。保護者への説明会はこれだけで終わるのかまた丁寧な説明があるのか。

事務局: パブリックコメントにつきましては市の統一的な制度に基づいて実施をしております。ご意見を拝見しておりますと、なるほどと思うところもたくさんありますが、制度の趣旨から言いますと基本方針案についてのご意見をいただくもので、「民営化をする、しない」という賛否を問うようなものではございませんので、いただいたご意見につきましては、こういった意見もあったということ、このような形で残し、公表させていただきます。基本方針案についてのご意見につきましては、市の考え方・対応について回答させていただいております。また、保護者説明会につきましては、これで終わりという事ではなく、これから民営化の取組みの段階に応じて、保護者の皆様に説明をさせていただく予定でございます。

委員C: これだけの意見があるなか進めていくということですが、段取りに焦りがあるのではないかと、焦りが不安であり、不安というのがお母さんたちの余裕とかを失わせて、それが子どものストレスになるのではないかと。時間がない中で民間化を決定するという事は、私も子どもを持つ母として、なかなか賛成できない。保護者が納得いくようにすすめて行くことができないか。心をこめて進めて行くことができないのかと思います。

事務局: パブリックコメントの中にもスケジュール的に急いでいるのではないかとご意見をいただいております。民間園が良い、公立園が良い、という議論よりも、将来の交野市全体の保育に目を向けたときに、公民どこの園を選んでも素晴らしい保育を受けられるという街づくりを進めていくことが基本方針の大きな目的であると考えております。

委員C: あまだのみや幼稚園に通われている保護者さんの事を考えて、貴重な意見を真摯に受け止めて今後もすすめていただきたいと思います。

会長: 民間であろうが公立であろうがどこの園も子どもに接する先生方は一生懸命しているというところは、この場でも共通認識として持っていたいと思います。

委員B: 「2. 移転、埋立、建替えに関するもの」ところで、「これから考えていく」といったような回答と

なっていますが、活断層も近くにあるということですので、これも含めて心配、不安があります。

副会長：池を埋め立てて建てたという事例があるのか。

事務局：二中、三中は、もともと池だったところに建てています。

委員D：私部保育園も昭和55年に池を埋め立てて建設しております。そのころの技術でも今も地盤沈下もございませんし、耐震の検査にも合格しております。

会 長：実績はあるということですね。そのあたり専門家には聞いているのですか。

事務局：測量調査と同時に造成設計も業者に発注しております。池を埋め立てて、早い時期に建設をすることについて、今からの検査もありますが業者にも十分に安全性を踏まえたうえで話をすすめています。

また、池を一部埋め立てて建設することへの安全上の不安につきましてもパブリックコメントにあったと思います。池が古くなってきており、堤防の持っているリスクを考えると今の池の持っているリスクより、整備後に残る池の方が安全性が高くなるのではないかと思っています。活断層につきましてはやはり気になるころではあります。国の資料によりますと活断層は、候補地から数十メートルと示されています。国では活断層に関する建設に際しての規制は示されていませんが、活断層の直上には建設しないこと、強い揺れに対しての現実的な対応に関しては、耐震強度を整備し安全面の確保を図っていく考えです。

委員A：あまだのみや幼稚園移転がもしもダメだった場合、あさひ幼稚園かくらやま幼稚園かという話になるのですか。となると、保護者説明会をまたする考えなのか。

会 長：他に候補地はあるのですか。

事務局：候補地については庁内検討委員会の中で候補地を選考していますが、なかなか合致する土地がありませんでした。保護者と子どもの環境面を考慮した中、また市の資源を活用する考えのもと候補地として選定されていますことから、移転候補地を変更するということはなかなか難しいと思います。

委員A：民営化するのは、あまだのみや幼稚園になるということですか。

事務局：民営化の候補としては2つが対象園になっています。あまだのみや幼稚園の移転候補地は森新池、くらやま幼稚園の移転候補地は今池、その2つを候補地として選定させていただいています。あまだのみや幼稚園が民営化になるかどうかは、対象園を比較していただき、どちらが有効性があるかということについてご審議をお願いしたいと思います。

会 長：気になるのですが、「交野市立幼稚園民営化基本方針(案)パブリックコメント結果概要」の

3頁の⑦その他のところに市はゆうゆうセンターのまわりの土地を確保していると聞いているが、その土地を移転先とすることはできないのか。とあるが、こういう場所があるのですか。

事務局： ゆうゆうセンターの周りのどこのことか分かりませんが、周辺に幼稚園を移転できるだけの広さの市有地はございません。

委員B： 森区民センターについて、以前は幼稚園みたいなのがあったのですがそこを活用することはできないのでしょうか。

事務局： あまだのみや幼稚園は、3園の中でも一番小さいのですが森区民ホールの面積では難しいと思います。

会 長： 森区民ホールの建物は森区の財産ですよね。他にありませんか。ないようでしたら、事務局から「交野市認定子ども園民営化基本方針(案)」について、これはタイトルを変更されているようですが説明をお願いします。

(2) 交野市認定子ども園民営化基本方針(案)について

事務局： 前回よりタイトルを変更させていただいております。「交野市立幼稚園民営化基本方針(案)」を、「交野市立認定子ども園民営化基本方針(案)」に変更させていただいておりますが、これは正式な名称に統一しております。それでは、変更した箇所につきまして、説明させていただきます。

1～2頁

以前は8本の柱だったのですが集約し、「何で民営化にするのか」というところがわかりにくいというパブリックコメントでもご意見も多かったので「1. 基本方針作成の背景と目的」につきまして見直しを行いました。一つ目の段落では、平成27年度からスタートしました子ども子育て支援新制度、またそれに対する市の取り組みについてまとめさせていただいております。二つ目の段落は、本市における保育の歴史につきましてご紹介をしています。三つ目の段落では、今現在の本市の幼児期の教育・保育のこと、待機児童のこと等を記載させていただいております。四つ目の段落は、課題とともに質の高い幼児期の教育・保育をめざすには、事業の選択と集中による効果的・効率的な子育て施策展開が求められていること、最後の段落では、基本方針の作成の目的をお示しさせていただいております。公立だけでなく民間を含めた全市的な教育・保育の質の向上を図ることを目的として「交野市認定子ども園民営化基本方針」を作成し、その方向性を示すもので、こういう形で目的についてまとめさせていただきました。

3～4頁

1. 交野市の保育をめぐる課題

(4) 多様化するニーズに向けた子育て施策への財源確保

これにつきましては、今回新たに追加をしたところでは、

2. 課題解決に向けた取り組み

この頁は、全て新たに追加をしたところでは、

(1) 新制度施行後の幼児期の教育・保育に係る主な取り組み

待機児童に係る保育定員の拡大についてご紹介させていただいています。また保育定員拡大に伴う保育料についてご紹介したいと思います。交野市では保護者からいただく保育料として国が定める負担水準の3割程度を市が負担し、7割程度を保護者が負担しています。近年、保育定員拡大に伴い、市の支出額が増加しているのが実態です。

(2) 基本方針に係る取り組み

このような定員の拡大に伴い市の負担が増大し財政の圧迫が懸念されています。将来にわたって幼児期の教育・保育の質、水準が確保されるためには、同時に財源の確保にも取り組むことが課題となっておりますことから、今後の課題解決に向けた取り組みを、☆印で提示させていただきます。

- ・公立1園を民営化に移行
- ・全市的な教育・保育の質と水準の向上
- ・保育環境の改善等による待機児童の解消

これは、新たに民間移行園の園舎を建設により、保育環境の改善と保育定員も現在のものより大きなものを想定して待機児童を解消

- ・更なる子育て施策の充実
- ・多様化するニーズに向けた子育て施策への財源確保

民営化による財政効果を活用して、例えばですが民間ならではのポテンシャルも期待される部分もございます。

こういった形で財源確保とともに、これからの将来に向けた幼児期の教育・保育の質向上を確保していくという、課題解決に向けた取り組みをお示ししております。

5頁

3. 市立認定こども園及び民間認定こども園(保育)の現状

名称を変更しています。「比較」を「現状」という形で表示。中身は基本的には変わっていないのですが、歳出の内容につきまして追加で記載しています。

7頁

4. 保育サービスへの対応(アンケート調査結果の分析から)

民営化に向けた課題の抽出という形で構成していましたが、今回の取り組みで民営化移行園への対応と市内民間園に対する対応が分かりにくかったということで、分けて記載をさせていただきました。

(1) 民営化移行園への対応

現在の公立の保育を継承していくという考えです。

- ①障がい児に対しては
受け入れについて必須条件
- ②給食関係

直営の自園調理を必須条件

③看護師配置

配置について必須条件

④費用負担

金銭的負担が新たに発生しないよう条件を付しているという考え方です。

⑤その他の教育・保育、子育て支援事業

事業内容を引き継ぐことを必須条件

(2)市内民間園への対応

8頁参照

11頁

内容の変更はありませんが、「指定管理者制度」の注釈を追加しています。

12頁

(4)民営化対象園の選定のための比較検証

比較検証が少ないのではないかとのご意見をいただき、新たに「待機児童解消への貢献」「移転による保育環境の改善」「活断層の状況」の比較検証の項目を追加しました。

変更箇所につきましては以上ですが、市として最終的には11頁中ほどの矢印の下、「市の財政負担、民間業者による柔軟な運営などを考慮し、設置主体も運営主体も民間業者に移行する「民設民営方式」が望ましい。」というところを、また13頁二重線の「第1認定こども園(あまだのみや)を民営化の対象園とすることが、最も効果が発揮できます。」のところにつきまして、両方選択肢となっており、民営化基本方針として考え方を結論付けていく必要がありますので、この審議会でご審議を賜りたいと考えています。

会 長：市の最終決定の考えもふまえ答申を受けたいということですね。今回、本審議会でご審議に向けて審議し承認することになりますが、みなさんのご意見、ご感想いかがでしょうか。

委員C：先程、パブリックコメントの回答はまだウェブで公開していないということですが、それでよかったですか。

事務局：今時点ではまだ公開はしていません。

委員C：公開もしていない状態で、今ここで審議して決定をしたいということですね。それはちょっと。

事務局：まだパブリックコメントについては公開はしていませんが、市の考え方についてはこの審議会でお示しさせていただいております。今後、このような形で公開していきたいと考えていますが、この審議会は基本方針についての市の考え方、方向性について審議をいただいております。その中でパブリックコメントの概要を資料として提出しております。公開するしないは、この審議会の審議とは別なところになるかと考えます。

会 長： 基本方針の最終決定は、当然、市ですよ。

事務局： ご審議をいただいた後、市長に答申書を提出していただくこととなりますが、答申書をいただいたのちに市として決定することとなります。

会 長： ただ方向性として、ある程度、一定の方向を決めたいということですね。

事務局： 当然、ご審議をしていただく基本方針の事項の一つとなっておりますので、ご審議をお願いしたいと、先ほども説明させていただきましたが、そういった意味合いからお願いをしたところでございます。

会 長： パブリックコメントの公開と事務局からの審議は別ということですか。よろしいですか。

委員C： 民営化移行園の対応ということで、障がい児保育など必須条件として民間園を募集することは素晴らしいと思うのですが、それで公募したとしてどれだけの民間園が手を挙げるのかが気になるところ。パブリックコメントにあったのですが、1園しかなかったらどうするのですかという意見もあったと思うのですが。

会 長： 基本方針に基づきどうかという話しですので、1園しかなかったらどうするのですかを審議する場ではないと思うのですが。

事務局： 市として民営化を進めていくのは基本方針に基づいてということになりますが、業者の選定につきましては、新たに選定委員会を設置する予定としております。この委員会において選定基準、公募要項等が審議されることとなり、また事業者の選定も行われることとなりますので、この基本方針と事業者の選定については、審議していただく会議の役割、内容が異なってくることになります。

会 長： 基本方針にそって選定基準をつくるのは選定委員会で行うということで、あくまでもこの会議は選定にかかわるものではないという事ですね。

事務局： この審議会は、基本方針につきましてのご審議をお願いしております。

委員C： 民設民営やあまだのみや幼稚園について、これでゴーサインを出すというのは、パブリックコメントの意見をした人の気持ちになると…。

事務局： 保護者説明会でいただいたご意見やパブリックコメントでいただきましたご意見等につきましては、この基本方針案の中に反映させていただきましたご意見もでございます。またパブリックコメント等によるご意見に対する市の考え方につきましては、今後公表していくこととなり

ますが、「民設民営」「あまだのみや幼稚園」といったご審議につきましては、この審議会で各委員のご意見を聞いていただくなかで、会長に作成をお願いすることとなります。答申書の中で、この審議会の意見として纏めていただければと考えております。

委員B: やはりパブリックコメントが出てまとめたばかりですので、早急過ぎるのではないのでしょうか。なので「望ましい」という表現の方がいいのではないのでしょうか。それと7頁①障がい児の受入③看護師配置の必須条件というところがよかったなと思います。⑤その他の教育・保育、子育て支援事業のところの項目の中で「事業内容を同等に引き継ぐことを必須条件とします」とあるので、産休明け生後8週での受け入れについてはパブリックコメントの中で「検討が必要と考えます」とありますがここも必須条件にしていいただければと思います。

会 長: 他にありませんか。

委員E: 公立がいいか民間がいいかというところで、要は5頁の整備コストの問題ですよね。市の負担という事を考えると提案している民設民営がいいのではないか、そういう事ですよね。

会 長: コスト効果で、どれだけ障がい児受入や看護師配置等ができるかということが大きな問題にもなってきますね。市全体の幼児期の事を考えると、こうした事業に対して補助金を出していく、そういった制度を新たに設けるということですね。

事務局: 障がい児受入、看護師の配置など全市的にスキルが上がっていく向上していくということを目指しています。国としても新制度により質の向上をめざす方針が示されていますが、市としても質の向上を考え進めていくとする基本方針となっています。

会 長: 各委員、いろいろな意見もあり難しいかと思いますが、一定の決断も必要ではないかなと思います。それでは、この基本方針案を承認するかどうかを諮りたいと思います。挙手によりお願いしたいと思います。この基本方針案を承認とする委員の挙手をお願いします。

(挙手11人)

いろいろなご意見があるかと思いますが意思表示に対する理由等を聞いていきたいと思うところですが、反対意見もありましたので、その意見については答申書に反映していきたいと考えますが、そのような答申でも可能ですか。

事務局: 反対のご意見があるということは、これまでの審議会のご審議をいただくなかでも認識はしていましたが、反対のご意見も市としましては重要なことと考えておりますので、今後、会長にお願いいたします答申書の中に盛り込んでいただければと思います。

会 長: この案件は、非常に難しい案件でありますので、委員の思いを聞かせていただければなと思います。一つの園がなくなるというのは、なかなか賛成と言うわけにはいかないと思いますが、そこの気持ちも汲んでいただければと思います。もしご意見あればいかがでしょう

か。

委員C： とりあえず、段取りとして当事者の方たちに必須条件をお伝えして、そこを納得いただいたうえで進めていただければと。そこをクリアしていただいたうえでしたら、また意見も変わってくるのかなと思います。

副会長： 必須事項は、協定書の中に関わってくると思います。どこまで必須とするかの委員会の中で話をされる方が良いのではと思います。

会 長： こういう気持ちなので反対であると言うところをおっしゃっていただければと思います。

委員C： これで全てが決まって、園がなくなってしまうという責任もあるので、挙手は出来なかった。時間をもう少し取るべきではないのかと思う。今回、委員の更新をすることにとっても迷いました。やめるのは簡単だが責任もあるのでということで続けています。市役所の方の御尽力もとてもわかるのですが、子どもを持つ母として、民営化を決定するという大事なことに賛成できなかった。

会 長： 他にありませんか。

委員A： 公立幼稚園がいいと思って入ったはずなのに、協定期間を設けるけど気持ちが納得できない。保護者は、あまだのみや幼稚園に入りたいと思って入った人もいると思うので。

会 長： 他にありませんか。

委員B： 個人的に、子ども孫もあまだのみや幼稚園でお世話になったので、寂しい思いでいっぱいです。交野市には公立が3園しかないのが2園になってしまうというのが寂しいです。パブリックコメントを真摯に受け止めて反映して欲しいなと思います。やっぱり保護者の方も不安だろうなと思います。もう少し時間をかけて検討していただきたいなと思います。

会 長： 他にご意見はありますか。承認はされたわけではございますが、このようなご意見があったということを入れていければと思います。また、副会長からもありました選定の話しのご意見として入れていければと思います。

副会長： 引き受けの業者を選定する場合の条件を考える場は必要になってくるかと思いますが、必須事項等あまり厳しくしても請け負うところなくなったりしますので、よりよい保育のためにそのところ条件等も今後考えていかなければならないのかなと思います。

会 長： 保護者の意見の中でも、そういったものが出てくると思うので反映できるようなシステムを作っていただければと思います。

事務局：基本方針案の中でも記載させていただいておりますが、事業者選定に関しましては、保護者の要望等のアンケートを実施する予定としておりますので、そこで選定に関して保護所の考え、要望等を聞いていければと考えています。

会 長：基本方針案を承認しましたことから、審議会として市長に答申書を提出することとなりますが、答申書の内容につきましては、事務局とも調整し、私の方でまとめさせていただければと思いますがいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(委員一同 了承)

会 長：今後のスケジュールについて、ご説明をお願いします。

事務局：次回は、10月24日14時から開催を予定しております。

会 長：では、次回は10月24日とのことですので、よろしくをお願いします。

(3)その他

会 長：最後の案件「その他」ですが、何かございますか。

委員F：パブリックコメントを公表される日にちを、意見をいただいた保護者全員の方に伝えていただくことは可能なのでしょうか。

事務局：たくさんのご意見をいただいておりますので個別通知は考えておりませんが、ホームページに掲載させていただく考えです。

委員F：返答はいつなのかともやもやしている人もいますので。

事務局：公表できる条件が整い次第、ホームページに載せさせていただきます。

会 長：要望がありますので近いうちにお願いします。

他に何かありませんか。

それではこれで、今日の会議は閉会とさせていただきます。